

## 第2次「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」の策定について

### ◎ 趣旨

第2次「宮っこ子育て・子育て応援プラン」(素案)を取りまとめたことから、その内容等について協議するもの

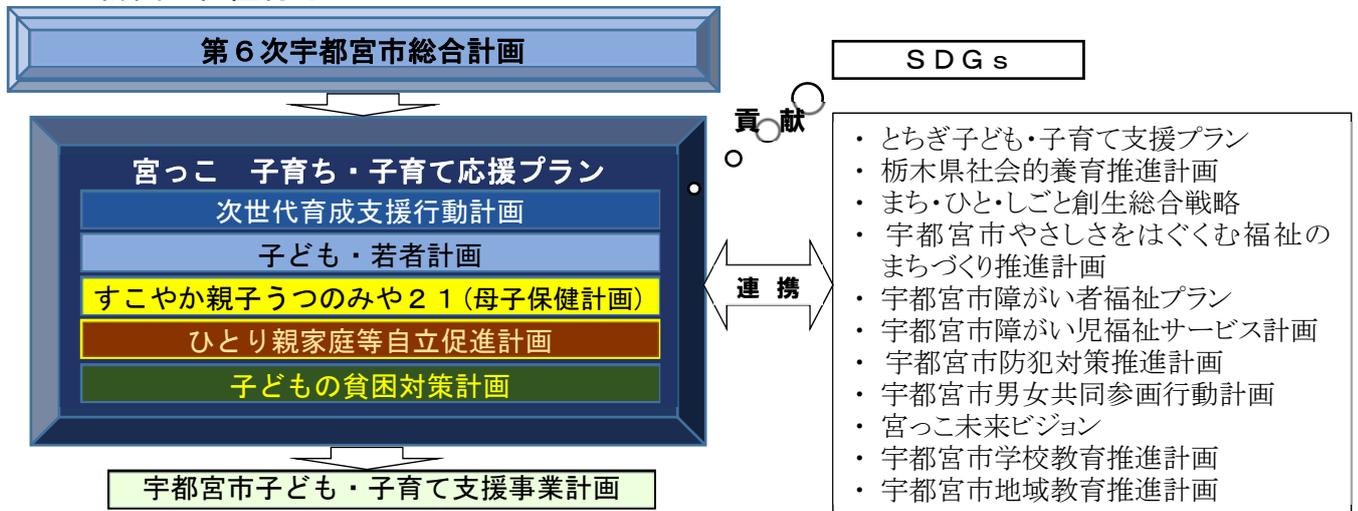
### 1 策定の目的

これまで、子育て家庭が愛情を持って安心して子どもを生き育て、子どもたちが心身ともに健やかに育つことができるよう、平成27年4月に策定した「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」(計画期間:平成22年度～平成31(令和1)年度)に基づき、不妊治療費への支援の拡充や産後ケア事業の実施、待機児童の解消など、結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目ない支援に計画的かつ着実に取り組んできたところであるが、少子化の流れを変えるまでには至っていない。

また、核家族化や共働き世帯の増加、地域コミュニティの希薄化などの社会環境の変化に伴う、家庭における養育力の低下などを背景に、児童虐待やひきこもりなど、子ども・若者や子育て家庭が抱える問題が複雑化・多様化している。

このため、現行プランの評価結果や社会環境の変化・市民ニーズを的確に捉え、これらの課題に適切に対応し、「子育て・子育ての未来都市うつのみや」を実現するため、第2次計画を策定する。

### 2 計画の位置付け



### 3 計画の期間

令和2年度から令和11年度までの10か年度  
 (前期期間:令和2年度～令和6年度,後期期間:令和7年度～令和11年度)  
 ※ 前期計画の終了年度に見直しを行う

### 4 策定経過

平成30年	8月～	子どもと子育て家庭等に関する生活実態調査
平成31年	4月～	庁内策定委員会(4月,7月,10月,1月:計4回)
令和元年	7月	子ども・子育て会議(現状と課題,基本理念の設定)
	10月	子ども・子育て会議(基本目標・基本施策等)

## 5 計画の内容・特徴

### (1) 内容

- 第2次「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」概要版（案）・・・別紙2-1  
第2次「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」（素案）・・・別紙2-2

### (2) 特徴（別紙2-3参照）

#### ア 「子どもと子育て家庭等に関する生活実態調査」を踏まえた

##### 新たな課題への総合的な「子どもの貧困対策プロジェクト」の設定

「実態調査」の結果を分析し、子どもや子育て世帯のニーズ、世帯収入から見た子どもの貧困の割合（相対的貧困率）、所得だけでは測れない「関係性の貧困」（親の子どもに対する意識や関わり方、子どもの食事や家庭学習の習慣付けなどが不十分な状態）等の傾向を把握した。

分析結果を踏まえ、これまでの「経済的な貧困対策」の継続に加え、子どもの現状における「関係性の貧困」解消策など、現在から将来に渡る総合的な「子どもの貧困対策プロジェクト」を盛り込み、市民や地域と連携強化を図りながら、子どもや子育て家庭に寄り添う「伴走型支援」を効果的・効率的に推進できるよう、「子どもの貧困対策に関する法律」に基づく「市町村計画」を兼ねるものとした。

（通称『うつのみや子どもミルフィーユ(みる・feel you)プロジェクト』）

#### イ 支援が届きにくく困難を抱える子どもや子育て家庭に対する支援の強化

子育てに対する不安や負担感を軽減し安心して子育てができるよう、ひとり親、発達障がい児や医療的ケア児、引きこもり、外国人児童生徒など、個々の状況に応じて地域で見守り支え合う「親支援」など、支援が届きにくい子どもや子育て家庭に対する支援策の強化を図った。

（地域共生社会の実現を見据えた施策事業の充実・強化）

#### ウ 新たに「予防的支援」を踏まえた総合的な児童虐待防止対策の強化

児童虐待にかかる個々の状況に応じた迅速・適切な対応に加え、児童虐待の未然防止や重篤化の抑制が一層図られるよう、関係機関との連携や地域の見守りなどにより、支援が必要な家庭を早期に把握し、アウトリーチなどにより確実に支援を届ける仕組みづくりなど、「予防的支援」を含めた総合的な児童虐待防止対策の強化を図った。

## 6 今後のスケジュール

- 令和2年2月3日～ パブリックコメントの実施  
下旬 子ども・子育て会議（パブリックコメント実施結果等）  
3月 計画策定